

七宝焼き(果物型キーホルダー・ペンダント)

ブドウやリンゴの形をした銅板の上に色ガラスの粉をのせ、高温で焼くと光沢の美しい七宝焼きができます。金具をつけてオリジナルのペンダントやキーホルダーにできます。



対象	4年生以上	実施時期	通年(海の日～8/31は不可)
持ち物	軍手		

ねらい

- ・創造力、表現力を高める
- ・名栗の思い出の作品を作る

実施の流れ

打ち合わせ・説明

- ◆開始 15 分前に、本所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
- ◆説明は本所職員が行います。

以降は、各団体が中心となり進行してください

準備(1テーブル 6人程度)

- ① 机を2つ合わせて新聞紙を一面に敷きます。
- ② セットされた道具を各テーブルに1つ運びます。
- ③ 竹串・紙やすり・型・チェーンをテーブルにいる人数分用意します。

※銅板はなるべく油分が付かないよう、端を持ちます。

実施

- ① 銅板を網の上にのせます。
- ② 竹串を使って銅板にゆう薬をのせます。
※厚さははがき1枚程度です。
※2種類以上のゆう薬を使う時は、必ず竹串を水洗いしてから次のゆう薬を使うようにしましょう。
※色の違うゆう薬を重ねると焼きあがり色が変わってしまうので、重ねないようにしましょう。
※銅板が見えている部分は焦げてしまうので、全体が隠れるようにゆう薬をのせます。
※リンゴの銅板の穴をゆう薬でふさがないようにしましょう。
- ③ ゆう薬をのせたらティッシュペーパーで水分を吸い取ります。
- ④ 網にのせたまま、かまへ持っていきます。
※かまへの出し入れは指導者が行ってください。
※かまは約800℃ととても熱いので、周りには近寄らず焼きあがるまで遠くで待機します。
※焼きあがった後5分程度は、かまのそばで冷ましておきます。
- ⑤ キーホルダーチェーンまたはペンダントチェーンをつけます。

片付け

- ① ケースに入った道具類やその他の道具を所定の場所に戻します。
- ② ティッシュペーパーや新聞紙をゴミ箱に捨てます。
- ③ 床に落ちているガラスの粉やゴミを掃き掃除します。

まとめ

- ・ 作品を披露し合います。
- ・ ふりかえり
- ・ 七宝焼きはかまの温度やゆう薬の厚みで色や光沢が変わるので、同じものは出来ません。たったひとつの作品なので大切にしよう伝えます。

留意点

- ・ 銅板には油分がなるべく付かないように扱きましょう。
- ・ ゆう薬は色が混ざると使えなくなってしまうので、1色使うごとに竹串を水洗いしましょう。
- ・ かまはたいへん熱くなるので、指導者が管理をし、子どもは離れた場所から見るようにしてください。
- ・ 焼きあがった型は冷めるまで数分かかるので様子を見ながら待ちましょう。
- ・ ゆう薬はガラスの粉です。口に入れないようにしましょう。また、終わった後は手をよく洗いましょう。